

NCデータコミュニケーター

*LanTan LT100BM*

別冊:バーコード機能ご使用方法 Ver.1.13

(対応本体バージョン Ver.1.3.4)

モディアシステムズ株式会社

## 0. はじめに:バーコード機能について

LT100BM は、バーコードリーダーを接続可能な PS2 ポートと、バーコード認識機能を本体に装備しております。作業指示書などに添付されたバーコードを読み取ることによって、目的の NC データ入出力を行うことができます。標準機能として、LT100BM 内部フォルダに保存されているテキストファイルを編集することで、バーコードと NC データファイル名を一致させ、LT100BM を NC データ出力待機状態にさせる機能を持っています。本紙では、標準機能のご使用方法を説明致します。また、標準機能を利用した機能のカスタマイズも有償で承っております。

※バーコードリーダーPS2 タイプはオプションになります。

※バーコード出力、テキストファイル出力用フリーソフトを提供しております。

(Microsoft Office Excel、バーコードフォント CODE39 をお客様にてご用意いただく必要がございます。また、お客様の環境によっては正しく動作しない場合があります。)

# 1. 標準機能セッティング

## 1-1. LT100BM パラメータ設定

パラメータ No.40 モニタリング機能 を「使用する」に設定して下さい。

パラメータの変更方法は LanTan LT100BM 取扱説明書 7 章、14 章をご参照下さい。

## 1-2. バーコードリーダー

バーコードリーダーPS2 タイプをご用意下さい。LT100BM の電源が OFF の状態で、LT100BM 本体 PS2 ポートへ接続して下さい。接続した後、LT100BM の電源を ON にして下さい。

## 1-3. バーコード対応テキストファイル「bcr.txt」の編集

本機能は、バーコードを読み込むと、読み込んだバーコードに対応した NC データを呼び出す機能となっております。本機能をご使用されるためには、LT100BM の内部フォルダ It-param に保存されている bcr.txt に記述内容を編集し、バーコード、NC データ名、NC データ保存先ドライブを一致させる必要がございます。bcr.txt は Windows のメモ帳、ノートパッドなどで開くことができます。

bcr.txt の内容



### ① バーコード No.

バーコードナンバーを入力して下さい。バーコードの内容は、ご使用されるバーコードリーダー、コードによって異なります。(上図例は、CODE39 を使用したときの文字列です。)

### ② データ保存先ドライブ No.

NC データの保存先ドライブを入力して下さい。入力可能な数字は 0~9 です。

ドライブ No.の意味

0 - USB

1 - LT100BM パラメータ No.31 で指定したディレクトリ

2 - LT100BM パラメータ No.32 で指定したディレクトリ

3 - LT100BM パラメータ No.33 で指定したディレクトリ

4 - LT100BM パラメータ No.34 で指定したディレクトリ

5 - LT100BM パラメータ No.35 で指定したディレクトリ

6 - LT100BM パラメータ No.36 で指定したディレクトリ

7 - LT100BM パラメータ No.37 で指定したディレクトリ

8 - LT100BM パラメータ No.38 で指定したディレクトリ

9 - LT100BM パラメータ No.39 で指定したディレクトリ

### ③ NC データファイル名

ファイル名に拡張子がある場合は、拡張子も含めたファイル名を入力して下さい。

※①②③は TAB 区切りです。

#### 1-4. バーコードの印刷

バーコード出力アプリケーションにて、バーコードを出力して下さい。

CODE39 対応のバーコードリーダーをご使用の場合は、Microsoft Office Excel でご使用頂ける弊社作成のフリーソフトをご使用になれます。

他社のアプリケーションにて本機能をご使用される場合は、ご使用が不可能か、お打合せにより LT100BM のカスタマイズ(有料)となる場合がございますので、お問い合わせ下さい。

#### ◆バーコード出力フリーソフトご使用方法

##### 1-4.1. フォントの準備

CODE39 をご用意頂き、お客様ご使用の Windows パソコンに保存して下さい。

保存先: ローカルディスク(C:) → WINDOWS → Fonts

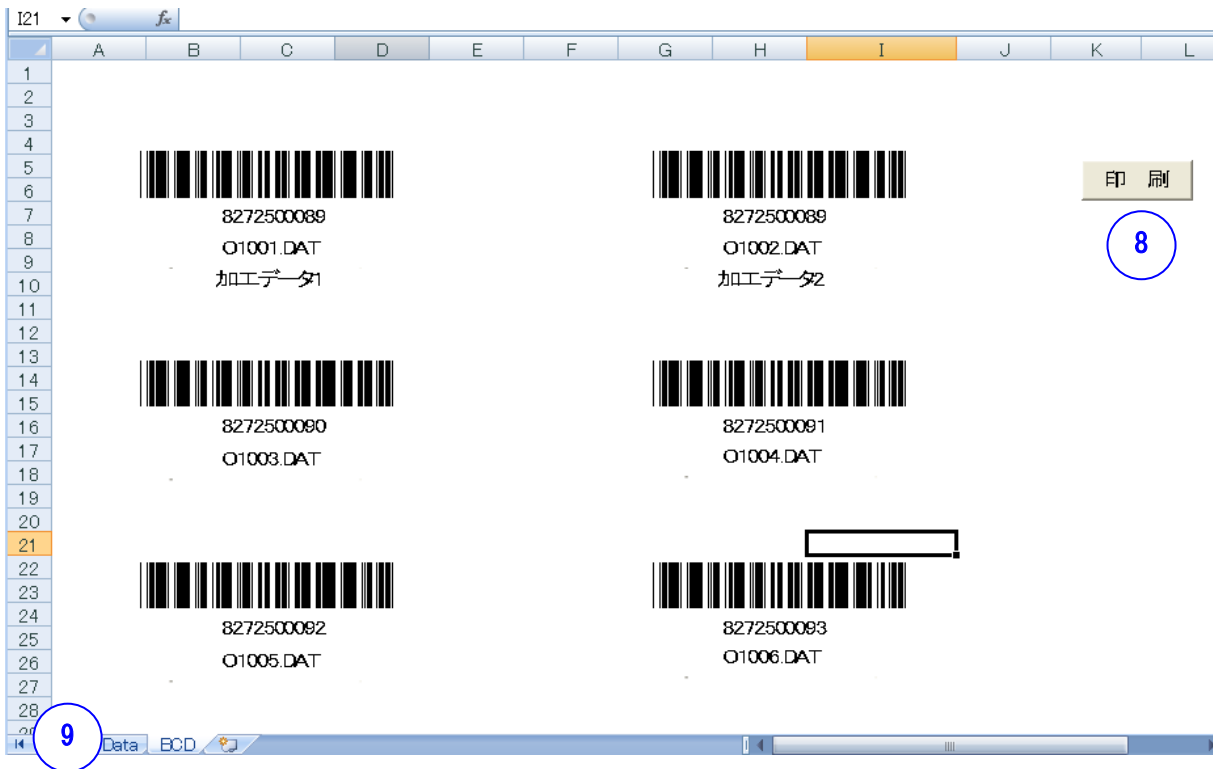
※フォントファイルは弊社からの供給は行っておりませんので、お客様にてご用意下さい。

##### 1-4.2. 編集

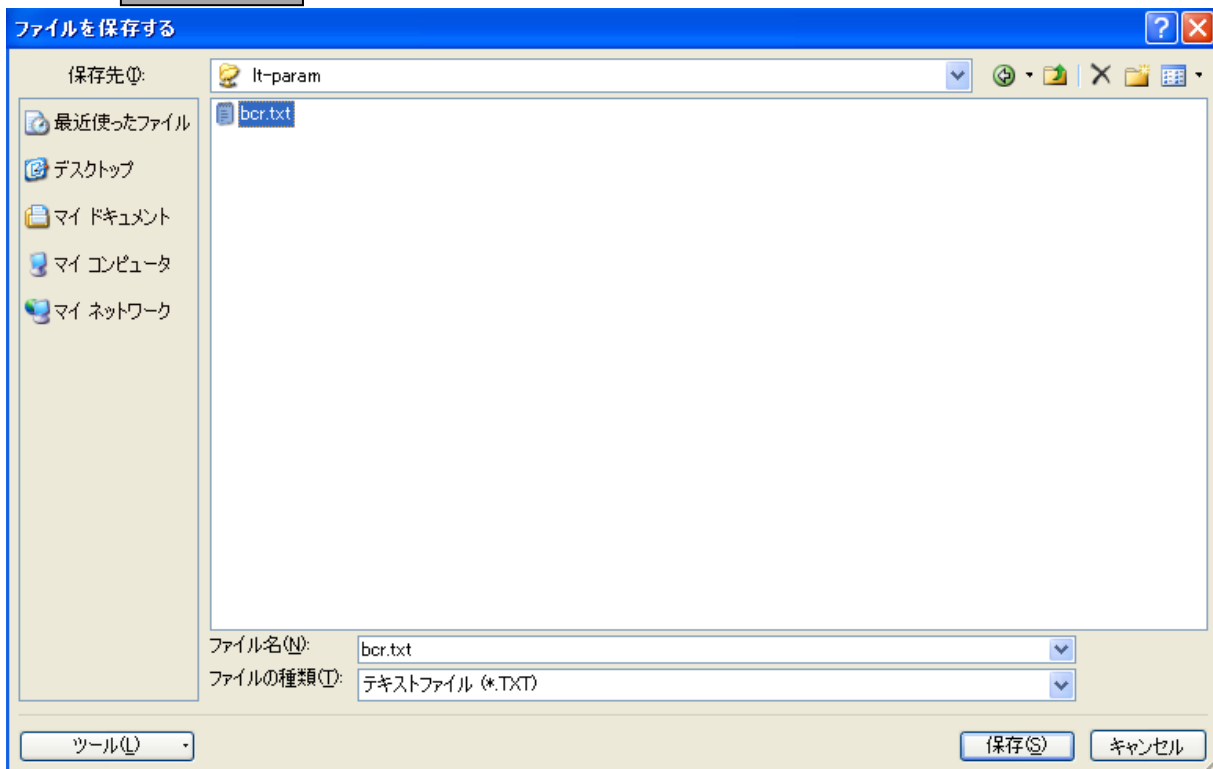
バーコード	コード	ドライブ	データ名	コメント
<input checked="" type="checkbox"/>	8272500089	4	O1001.DAT	
<input type="checkbox"/>	8272500089	4	O1002.DAT	
<input checked="" type="checkbox"/>	8272500090	4	O1003.DAT	
<input checked="" type="checkbox"/>	8272500091	5	O1004.DAT	
<input checked="" type="checkbox"/>	8272500092	5	O1005.DAT	
<input type="checkbox"/>	8272500093	5	O1006.DAT	
<input type="checkbox"/>	8272500094	6	O1007.DAT	
<input type="checkbox"/>	8272500095	6	O1008.DAT	
<input type="checkbox"/>	8272500094	6	O1009.DAT	
<input type="checkbox"/>	8272500095	6	O1010.DAT	

- ① バーコード出力する行にチェックを入れて下さい。
- ② バーコード No.を入力して下さい。
- ③ NC データの保存先ドライブを入力して下さい。入力可能な数字は 0~9 いずれかです。
- ④ ドライブに保存したデータのファイル名を入力して下さい。  
ファイル名に拡張子がある場合は、拡張子も含めたファイル名を入力して下さい。
- ⑤ コメントを入力できます。入力したコメントは、出力されたバーコードの下に印刷されます。
- ⑥ ①~⑤の入力が完了したら、**コード作成** ボタンをクリックして下さい。

- ⑦ シート BCD をクリックして下さい。①～⑤で入力した内容がバーコードとして出力されます。  
 ※お客様の環境によってはバーコードが正しく表示されない場合があります



- ⑧ **印刷** ボタンをクリックし、表示されているバーコードを印刷します。
- ⑨ シート Data をクリックし、前の画面に戻って下さい。
- ⑩ **書き込み** ボタンをクリックします。



入力した内容がテキストファイルで出力されますので、LT100BM 内部フォルダ「lt-param」に既に保存されている bcr.txt に上書き保存します。

前述④にてコメントを入力した場合は、コメントのみが記載されたテキストファイル bcr\_c.txt が自動的に保存されます。

## 2. NC データの出力

2-1. LT100BM のモードを「A」にセットし、RESET ボタンを押します。

2-2. 印刷したバーコードをバーコードリーダーで読み込みます。

データ呼び出しに成功し、出力待機状態になると、BUSY(緑)ランプが点滅から点灯に変わります。

2-3. 工作機械から DC1 を出力しますと(リード、INPUT ボタンを押します)、データ出力が開始されます。

LanTan LT100BM                      2018.12.1  
別冊:バーコード機能ご使用方法 Ver.1.13

モディアシステムズ株式会社  
〒343-0023 埼玉県越谷市東越谷10-4-2  
TEL 048-971-6341 FAX 048-971-6474  
お問合せ: [info@modia.co.jp](mailto:info@modia.co.jp)  
ホームページ: <http://www.modia.co.jp>  
本書からの無断転載はお断りいたします  
(記載の商品名は各社の商標です)